

しもつけし
ぎかい
だより

令和6年5月15日発行

令和6年第1回定例会 3月議会

—— 今号のポイントは？ ——

- 令和6年度各会計当初予算
注目事業をピックアップ!! …… P 3
- 令和5年度各会計補正予算 …… P 4
- 13名の議員が市政を問う 一般質問… P 8～
- 読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ …… P 16



～各分野で
活躍されている
皆様との懇談会を
開催しました～

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



No.72

令和6年第1回 定例会

2月21日(水)～3月18日(月)

令和6年第1回定例会は、2月21日から3月18日までの27日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、人事案7件、令和5年度補正予算8件、令和6年度予算8件、条例の一部改正等11件の計34件が提出されました。また、陳情1件の審査が行われたほか、一般質問では3人の会派代表者質問と10名の個人質問が行われ、市の対応や考え方を問いました。※以下、抜粋して紹介します。

令和6年度各会計予算を議決

一般会計

予算総額275億5,000万円(前年度比4.6%増)
予算編成テーマ ～『シモツケ 未来へ ウツテツケ』予算～

令和6年度一般会計予算は、「第二次下野市総合計画、後期基本計画」及び「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を連携し、「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現に向け、市民ニーズを的確に捉えつつ、今後とも行政サービスを安定的に提供できるよう『シモツケ 未来へ ウツテツケ』予算として編成されました。

『シモツケ ○○ ウツテツケ』は、東の飛鳥・下野市の歴史的特性により証明されている「くらしやすさ」をPRするためのキャッチコピーです。

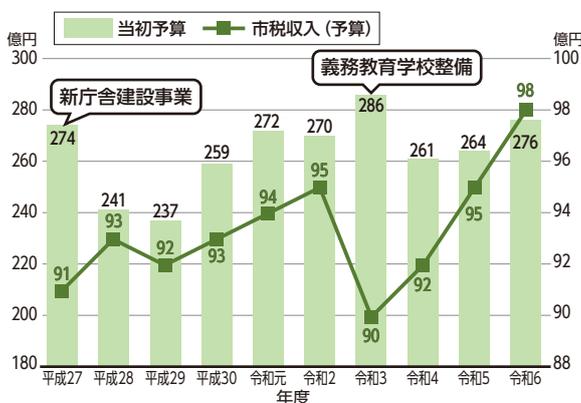
令和6年度予算の詳しい内容は、市ホームページ、広報しもつけ5月号(P.14～)をご覧ください。



主要事業について

- **病児・病後児保育事業** 1億1,422万9,000円
病児・病後児等の一時預かり保育への支援
- **がん対策事業** 1億5,283万9,000円
がんの早期発見、早期治療を目的とした、各種がん検診の実施
- **子育て世代包括支援センター事業** 658万4,000円
妊娠から子育て期の切れ目のない相談に応じ、きめ細かい支援の実施
- **伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業** 5,404万5,000円
面談等で必要な支援につなぐ体制の充実と経済的支援を一体的に実施
- **妊娠・出産包括支援事業** 7,265万4,000円
妊娠期から子育て期における切れ目のない支援
- **学校教育サポートセンター整備事業** 2億7,340万円
学校教育サポートセンターの建設
- **東の飛鳥プロジェクト推進・整備事業** 1,265万3,000円
東の飛鳥による歴史文化を活用したまちづくり・PRの実施、下野薬師寺跡周辺の街なみ環境整備

10年間の当初予算額と市税収入予算額の推移



- **消防防災施設管理事業** 3,294万3,000円
消火栓・防災カメラ・屋外拡声器等の維持管理
- **担い手支援事業** 2,209万円7,000円
経営改善担い手農家の農業機械導入等への支援、経営継承への支援
- **商工業振興事業** 9,504万4,000円
工場誘致奨励金、まちなか商店リフォーム補助金
- **制度融資事業** 5億1,410万4,000円
制度融資の利用促進、中小企業制度融資保証料補助など
- **しもつけ産業団地整備推進事業** 8,131万8,000円
配水管布設工事負担金
- **観光プロモーション事業** 7,701万2,000円
市観光協会事業等補助、観光PR事業
- **スマートIC整備事業** 2億1,650万円
市道1153号線道路改良工事、ネクスコ東日本への整備負担金
- **情報ネットワーク管理事業** 2億4,087万2,000円
行政運営の効率化を図るためのシステム整備及び維持管理

令和6年度各会計予算

会計名	予算額	前年度との比較		
		増減	比率(%)	
一般会計	275億5,000万円	12億円	4.6	
特別会計	国民健康保険	46億449万3千円	△6億3,496万6千円	△12.1
	後期高齢者医療	8億3,006万3千円	7,745万1千円	10.3
	介護保険	46億4,586万1千円	8,175万6千円	1.8
	石橋駅周辺土地区画整理事業	879万9千円	△1億2,574万円	△93.5
	仁良川地区土地区画整理事業	2億4,777万2千円	△1億6,487万4千円	△40.0
企業会計	水道事業	18億1,652万9千円	△510万8千円	△0.3
	下水道事業	39億2,679万6千円	3億4,646万2千円	9.7



議会だより
編集委員が選ぶ

注目事業

当初予算から気になる事業をピックアップしました。

市内公共交通運行事業 4,334万6,000円
デマンド交通運行管理業務委託費

次期3年間のプロポーザル方式で入札を行いました。人件費増、燃料費の高騰、車検費、予約システムのバージョンアップ、パソコン等の保守委託、新たに通信費、登録時のカード発行・送付も委託するため、前年度より935万円ほど高くなりました。デマンド交通利用登録者数は増加しています。

スマートIC(インターチェンジ)整備事業 2億1,650万円

北関東自動車道が持つ広域的なネットワークを活用し、地域の活性化や産業・物流における優位性を高めるため、(仮称)下野スマートICの整備を行います。開通は令和7年度末目標です。



スマートインターチェンジ
工事箇所図(完成イメージ)

コミュニティセンター修繕事業(グリーントウンコミュニティセンター屋根修繕) 3,597万7,000円

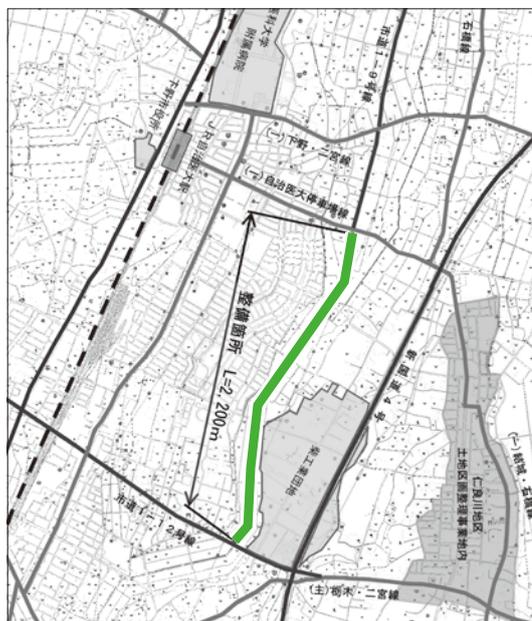
平成7年に設置した建物の屋根全体でサビが多く発生しており、フッ素ガルバリウム鋼のカバー工法により修繕します。塗装修繕よりコストが高くなるが、メンテナンス周期が長く、建物の長寿命化に繋がります。設計委託料と工事請負費。



グリーントウンコミュニティセンター
(常任委員会現地調査にて)

市道1-9号線整備事業 7,850万円

建設中のしもつけ産業団地、及び(仮称)下野スマートICへのアクセス強化を図り、更なる地域交流の促進と産業振興のための整備です。



妊娠・出産包括支援事業 7,265万4,000円

令和6年度の新規事業として「子育てアプリケーションの運用」があります。母子保健もデジタル化という観点で、従来の母子健康手帳と併用して、子育てや予防接種管理などの子育て情報発信等を行い、伴走型相談支援の充実を目的に導入予定。市の母子保健事業のオンライン予約や多言語翻訳機能も加わります。

児童生徒英語教育推進事業 5,020万8,000円
(うち、英語検定料助成 65万6,000円)

3級以上の英語検定料助成を中学生に限らず、令和5年度から小学生にも対応しています。

人事

付議事件	内容
教育委員会教育長の任命	任期満了に伴い、石崎 雅也 氏(小山市)の任命(再任)に同意。
教育委員会委員の任命	任期満了に伴い、佐間田 香 氏(小金井)の任命(再任)に同意。
公平委員会委員の選任	任期満了に伴い、小菅 拓郎 氏(宇都宮市)の選任(再任)、上野 志帆 氏(三王山)の選任(新任)に同意。
固定資産評価審査委員会委員の選任	任期満了に伴い、秋原 仁 氏(石橋)の選任(再任)に同意。 稲葉 一彦 氏(小金井)・黒川 弘 氏(仁良川)の選任(ともに新任)に同意。

令和5年度各会計補正予算を議決

一般会計補正予算(第7号)

臨時特別給付金支給事業等により、449万円を増額

449万円を増額したため、歳入歳出の予算総額は293億6,722万円となります。

- 歳入：国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(55万円)、県からの児童福祉費補助金(394万円)
- 歳出：住民税均等割りのみ課税世帯に対する臨時特別給付金支給のための電算システム改修費(55万円)、保育園・学童保育への物価高騰対策事業費等(394万円)

一般会計補正予算(第8号)

各種事業費の確定により、3億9,186万9千円を減額

3億9,186万9千円を減額したため、歳入歳出の予算総額は289億7,535万1千円となります。

- 歳入：地方交付税などが増額(3億945万3千円)
国・県の負担金や補助金、繰入金などの額の確定により、トータルで大きく減額
- 歳出：市道整備事業等(1億876万2千円)、保育園事業(8,061万5千円)および認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業(770万円)など増額となりましたが、各種事業費の確定により、差し引きは減額

令和5年度 各会計 補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第7号	449万 円	293億6,722万 円
	第8号	▲3億9,186万9千円	289億7,535万1千円
特別会計	国民健康保険(第3号)	▲704万9千円	54億4,117万5千円
	介護保険(第3号)	▲4,237万1千円	47億 859万4千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業(第3号)(繰越明許)	-	-
	仁良川地区土地区画整理事業(第3号)(繰越明許)	-	-

令和5年度 企業会計 補正予算

区 分		補正額	補正後の予算額
水道事業 (第3号)	収益的収支	収 入	-
		支 出	▲5,760万 円
	資本的収支	収 入	▲3,000万 円
		支 出	▲3,000万 円
下水道事業 (第3号)	収益的収支	収 入	-
		支 出	▲1,430万 円

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

下野市民も小山市・野木町の公共施設を同一料金で利用できます。
相互利用について、詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。



公民館設置条例及び都市公園条例の一部改正

国分寺・石橋・南河内・南河内東の4公民館及びグリムの館の利用料について、4月1日から小山市並びに野木町在住者も下野市在住者と同一料金となります。

自治会公民館建設費補助条例の一部改正

新築の場合、工事費の2分の1以内500万円とし(従前300万円)、改築の場合、工事費の2分の1以内150万円(従前100万円)と変更になります。

陳情第1号 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

陳情の趣旨

全国市区町村の庁舎内で、政党機関紙の勧誘・配達・集金が無許可で行われていることが問題になっている。パワハラ防止法が施行され、地方公務員が保護対象となったことから、職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されたり、その際に心理的な圧力を感じた実態がないか、調査・確認を求めるとともに心理的圧力を受けた職員には適切な対応を求めるものです

総務常任委員会での意見

「市長から、本市においてそのような事案はないとの明確な回答が出されている」「市では人事評価の観点から全職員と年2回面接をしており、実質的にアンケート調査をしているものと同様と評価している」「庁舎管理規則があり、禁止行為とみなされていることから、そのような実態はない」という調査結果を踏まえ、不採択とすべき意見が出されました。

委員会及び本会議表決の結果

全会一致で「不採択」



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎村尾 光子 ○松山 裕
秋山 幸男 石川 信夫 西本 由利子 坂倉 司

議案第9号 令和6年度一般会計予算

市民活動センターの債務負担行為

Q 歳出根拠を伺う。

A 令和7年度から指定管理による運営を予定している。令和6年度に選定委員会を行いプロポーザル方式で事業者を選定する。指定管理料は1年間1,900万円を見込み、令和7年度から11年度までの5年間で9,500万円を積算している。

法人税

Q 増収を見込む理由を伺う。

A コロナ禍の影響がほとんどなくなり、全体的に経済活動の持ち直しが続く。特に市内トップ法人の業績好調により歳入が伸びている。

ふるさと納税推進事業

Q 増額理由と事業内容を伺う。

A 返礼品PRパンフレット作成や市ホームページへの掲載、PR動画作成やウェブ広告出稿を新たに計画している。



シモツケ大学
オープンスペース



姿西部考古台地
コミュニティセンター

委員会報告

経済建設常任委員会

◎貝木 幸男 ○金子 康法
小谷野 晴夫 石田 陽一 五戸 豊弘 石川 浩

現地調査



石橋駅西口
ペDESTリアンデッキ



三王山ふれあい公園

議案第2号 令和5年度一般会計補正予算(第8号)

クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金

Q 減額の要因を伺う。

A 道の駅しもつけの電気自動車用充電器施設の設置主体が、市から道の駅しもつけに変更されたため。

議案第9号 令和6年度一般会計予算

特産農産物支援事業

Q 農業振興費において地域ブランド支援事業から名称変更された理由を伺う。

A 商工観光課における「ブランド」と差別化を図り、「特産農産物」としてかんぴょう・イチゴに特化し推進していくため。

市道2-29号線整備事業

Q 街路灯の数は適正か伺う。

A 道路照明設置基準に基づき設置している。

議案第16号 令和6年度下水道事業会計予算

下水道料金

Q 下水道料金改定の予定はあるのか伺う。

A 料金改定支援業務においてシミュレーションを行いつつ、令和6年度に上下水道料金審議会を立ち上げ検討する。

教育福祉常任委員会

◎伊藤 陽一 ○山下 みゆき
大島 昌弘 相澤 康男 加藤 好雄 鈴木 一司

議案第2号 令和5年度一般会計補正予算(第8号)

学校教育サポートセンター整備事業

Q 実施設計330万円の補正は、ゼブ認証ランクと関連はあるのか。

A ゼブ認証^{*}を行うための変更となり、太陽光パネルを設置するための設計変更である。

(※) **ゼブ認証**…ゼブ認証は、再生エネルギーの活用度などにより認証レベルを上げることで脱炭素により補助も見込める。本市は昨年10月29日にゼロカーボンシティ宣言をし、今後、新築する公共施設については、基本的にゼロカーボンシティの実現を目指していく。

CHECK 現地調査



別処山公園 B球場ナイター



石橋中学校 屋内運動場

議案第9号 令和6年度一般会計予算

財産貸付収入

Q 行政財産賃貸料の内訳を伺う。

A 1,080万円が石橋複合施設の賃貸料となり、複合施設敷地の約3分の1の土地をカワチ薬品に貸している。

学童保育事業

Q 放課後児童クラブ整備助成費7,308万円の内容を伺う。

A 来年度、学校法人内木学園が、わかば保育園に新たな学童クラブを設立することに対する補助金である。

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

東の飛鳥プロジェクト推進事業

(令和6年度一般会計予算)

Q 歴史的文化を生かしたまちづくり事業として、今後プロジェクト化するとのことだが、平成31年に東の飛鳥プロジェクトとして開始しているものと今回の違いを伺う。

A 自然が豊かで災害が少ないという東の飛鳥の歴史文化の特性を、まちづくりに活用することで地域活性化や魅力向上などにつなげる。新たに東の飛鳥プロジェクトと『シモツケくらしウツェツケ』を一体化し、全庁体制で推進する。

漏水対策の方法と実施地域

(令和6年度水道事業会計予算)

Q 漏水対策は近年とても重要になっているが、6年度はどのような方法で具体的にどの地域で実施するのか。

A 昨年度の漏水対策は、市内全域を対象に衛星を用いた漏水調査を実施した。その結果、漏水可能性のある地点が209か所報告された。今年度はJR3駅周辺を中心に実施する予定である。

議 会 の 動 き

2月

- 1日 経済建設常任委員会・教育福祉常任委員会
- 2日 議員全員協議会・正副委員長会議
- 14日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会・議会だより編集委員会
- 21日～3月18日 第1回定例会
- 27日 議会活性化特別委員会小委員会
- 29日 会派代表者会議

3月

- 1、4日 総務常任委員会
- 5、6日 経済建設常任委員会
- 7、8日 教育福祉常任委員会
- 8日 小山広域保健衛生組合 第1回議会定例会
- 14日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 18日 議会だより編集委員会

21日 石橋消防組合議会

22日 議会報告会(意見交換会)

25日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：経済建設常任委員会)

4月

- 3日 議会だより編集委員会
- 15日 栃木県市議会議長会議
- 16日 議会だより編集委員会
- 17日 議員研修会(まちづくりについて)
- 19日 議会だより編集委員会
- 22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：教育福祉常任委員会)
- 25日 関東市議会議長会定期総会
- 26日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会

第1回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉司	山下みゆき	西本田利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子
議案1号	令和5年度下野市一般会計補正予算(第7号)	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案9号	令和6年度下野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案29号	下野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案30号	下野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案31号	下野市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案32号	下野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
[追]発議2号	食料・農業・農村基本法改正に伴い、基本法に「種子の自給」を盛り込むことを求める意見書(案)の提出について	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 (石田陽一議長は表決に加わらない)

全会一致で可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
同意1号	下野市教育委員会教育長の任命について	議案15号	令和6年度下野市水道事業会計予算
同意2号	下野市教育委員会委員の任命について	議案16号	令和6年度下野市下水道事業会計予算
同意3、4号	下野市公平委員会委員の選任について	議案17号	下野市民館設置条例及び下野市都市公園条例の一部改正について
同意5〜7号	下野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案18号	下野市自治基本条例の一部改正について
議案2号	令和5年度下野市一般会計補正予算(第8号)	議案19号	下野市自治会公民館建設費補助条例の一部改正について
議案3号	令和5年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議案20号	下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について
議案4号	令和5年度下野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	議案21号	下野市介護保険条例の一部改正について
議案5号	令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	議案22号	道の駅しもつけ設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案6号	令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	議案23号	下野市道路路占用料徴収条例の一部改正について
議案7号	令和5年度下野市水道事業会計補正予算(第3号)	議案24号	下野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
議案8号	令和5年度下野市下水道事業会計補正予算(第3号)	議案25号	下野市水道事業給水条例の一部改正について
議案10号	令和6年度下野市国民健康保険特別会計予算	議案26号	下野市監査委員に関する条例の一部改正について
議案11号	令和6年度下野市後期高齢者医療特別会計予算	議案27号	市道路線の認定について
議案12号	令和6年度下野市介護保険特別会計予算	[追]議案28号	下野市税条例の一部改正について
議案13号	令和6年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	[追]発議1号	下野市議会委員会条例の一部改正について
議案14号	令和6年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算	[追]・・・追加議案	

全会一致で不採択となったもの

議案等番号	付議事件
陳情1号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

審議結果

議会年間スケジュール



第2回定例会(6月議会)の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
 ※日程が決定次第、市議会ホームページでお知らせいたします。
 ※本会議・常任委員会は傍聴することができます。

日	月	火	水	木	金	土
5月26日	27	28	29	30	31	6月1日
				本会議		
				開会	一般質問	
2	3	4	5	6	7	8
	本会議		常任委員会			
	一般質問					
9	10	11	12	13	14	15
					本会議 閉会	

市政を問う 一般質問

一般質問はインターネットで動画を公開しています。各議員の記事右上の2次元コードによりご覧ください。

第1回定例会では、会派代表質問が行われ、3名の会派代表質問者が質問しました。また、個人質問として10名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【会派代表質問】

1. 相澤 康男 議員(清明会)……………P 8
2. 小谷野晴夫 議員(一心会)……………P 9
3. 加藤 好雄 議員(下野市民派クラブ)・P 9

【個人質問】

4. 大島 昌弘 議員……………P 10
5. 金子 康法 議員……………P 10
6. 村尾 光子 議員……………P 11
7. 貝木 幸男 議員……………P 11
8. 石川 信夫 議員……………P 12
9. 山下みゆき 議員……………P 12
10. 石川 浩 議員……………P 13
11. 松山 裕 議員……………P 13
12. 五戸 豊弘 議員……………P 14
13. 坂倉 司 議員……………P 14



会派代表質問
清明会



あい ざわ やす お
相澤康男 議員が問う

企業誘致

新産業団地構想は

市長

未来につながる投資となるような調査結果に基づいて進める

Q 産業団地についての現状と計画はどの程度進んでいるのか伺う。

A 市長 しもつけ産業団地整備事業は令和4年度から造成工事に着手し、令和6年度内の完成に向け順調に進めている。続く産業団地の整備を推進する必要があると、今年度改めて工場適地調査に着手した。工場適地となる複数の候補地エリアを抽出した後、最終的な候補地の絞り込みを行う。

Q 市制20周年に向けた方策を伺う。

A 市長 市制施行20周年記念事業実行委員会を早期に立ち上げる。20周年を機会に未来に向けたプロジェクトを発信し、市民の心をひとつにして、新しいまちづくりをスタートさせたい。



完成間近のしもつけ産業団地



産業団地はココ



会派代表質問
一心会



こやのはるお
小谷野晴夫 議員が問う

役所周辺

今後の市役所周辺の 土地利用の見直しは

市長 早期に市としての基本構想を取りまとめる努力をしていく

Q 市役所周辺は、JR自治医大駅をはじめ国道4号線や小金井地区と石橋地区を結ぶ都市計画道路の県道も整備中であり、下野市のさらなる発展に必要であると思うが、今後の見通しは。

A **市長** 地元関係者のご理解とご協力を得ることが不可欠であると考え、今まで説明会やアンケート調査を行ってきた。これらの中でいただいたご意見を踏まえながら、都市核にふさわしい機能と導入すべき施設、具体的な区域、事業所等を検討し、早期に市としての基本構想を取りまとめ努力をしていく。

Q 新年度予算編成において、市長が目指す本市のまちづくりをどのように展開していくのか。

A **市長** 子育て支援、また、都市計画等を中心に積極的に進めてきた。やはり未来への投資、種まきを含めた予算である。市民の皆さま全員が安心して快適に過ごせる共生社会を基本とするまちづくりでなければならないと考えている。本市の住みやすさ、暮らしやすさに徹底的にこだわったまちづくりを進めていきたいと考えている。



下野市役所から西側を望む



会派代表質問
下野市民派クラブ



かとうよしお
加藤好雄 議員が問う

水道事業

表流水を使うなら 市民が納得する説明を

市長 事業への参画ありきでなく市民が納得できる説明をして決断する

Q 能登半島地震では自己水源の地下水を持つ水道の強靱性が改めて実証された。「水源をすべて地下水に依存することはリスクがある」というが、具体的にどう説明されるのか。

A **市長** 必ずしも広域水道自体の脆弱性を示すものではない。地下水にも水質問題や濁りの発生等のリスクがある。リスク分散の方策として多様な水道水源を検討することは必要だ。

Q 県から依頼中の用水供給条件は、回答期限がない。回答の必要性和撤退表明の考えを伺う。

A **市長** 施設の老朽化や損傷の現状調査と対応策にまだ多くの時間とコストがかかる。十分な検証と多方面からの行政判断が必要だ。用水供給条件を提出する前に、議会や市民に内容を分かりやすく丁寧に説明し、意見を伺い理解を頂く。

Q 「いきいきタウントーク」や市政懇談会で多くの市民から声を聞かれたと思う。表流水を使うなら市民が納得する根拠を示せるか。

A **市長** 県南広域的水道整備事業による財政負担や水道料金への影響を十分配慮し、市民生活に直結する水源問題は適切な時期に判断する。



災害に強い下野市の水道水

個人質問



おおしま まさひろ
大島昌弘議員が問う

整備検討



三王山ふれあい公園の今後の整備は

市長 遊具の増設も検討していく

Q 公園遊具の整備について、今後どのように考えているのか伺う。

A 市長 公園には健康遊具と滑り台やターザンロープなどの遊具が配置されており、休日には大変多くの皆さまにご利用いただいている。今後は特に、共生社会を実現するためには、体に障がいがある子どもない子ども一緒になって遊ぶことができるインクルーシブ遊具の整備も一つの方策と考えている。既に職員による先進県の調査を行っており、新年度予算にも調査費を計上した。

Q 今後の防災対策について、国の指針では、2028年度末までに上水道の耐震化率を60%以上に引き上げるとしているが、本市の状況を伺う。

A 市長 本市の令和4年度末の水道管の延長は、導水管及び配水管を合わせ543キロメートルになっている。このうち、耐震管の延長は62キロメートル、率にして11%で、耐震適合管と分類されるダクタイル鋳鉄管K型の布設延長は366キロメートル、耐震管と耐震適合管を合わせた水道管の総延長は428キロメートル、率にして78%となっている。



三王山ふれあい公園の遊具

個人質問



かね こ やす のり
金子康法議員が問う

総合戦略



地方創生総合戦略と行政改革の推進状況は

市長 DX・人材育成・柔軟な体制構築に取り組み、行政改革推進に努める

Q 計画開始4年経過の現在、具体的な進捗・成果はどのような状況か。また今後の重点施策は。

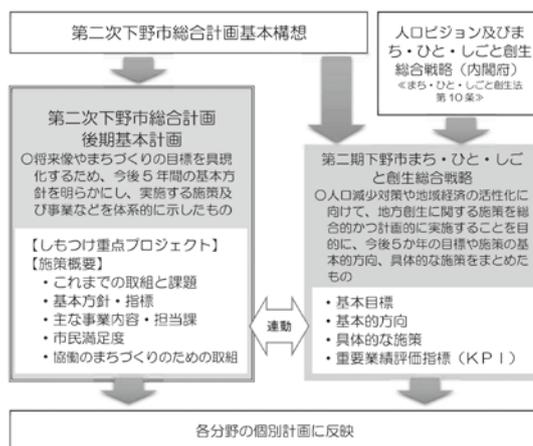
A 市長 市総合戦略の令和4年度実績は、重要業績評価指標（KPI）がおおむね良好な結果（雇用促進・創業支援・子育て支援等）である。今後は転入者・出生数増の為の環境充実に努め、周辺市町との連携やデジタル化も享受できる地方創生の推進を図る。

Q 行政改革大綱及び実施計画を策定（令和2～6年度）、行政改革推進委員会も設置、推進してきた行政改革の状況と成果はどうか。

A 市長 総合計画の目標達成の為、行政改革大綱実施計画に基づき取組を実施してきたことで、行政運営の効率化・質の向上・財政健全化・地域活性化等の効果を得られた。具体的な成果として、令和4年度の財政効果額は2,269万円となっている。

Q 保健衛生行政の関係非正規職員が4割強とのこと。もっと正規職員比率を高めるべきでは。

A 市長 主体的に動く職員と補助的業務の任用職員をすみ分けし計画的採用を行っていきたい。





個人質問



むら お みつ こ
村尾光子 議員が問う

水道施設

市水道施設整備計画の改訂が必要ではないか

市長 令和6年度以降、施設整備計画を見直し、次いで経営戦略も見直す

Q 水道施設整備は計画通りに進んでいるのか。人件費・資材費等が高騰しており、老朽化や漏水問題も予測以上に進行しているようだ。見直しが必要ではないか。

A **市長** 施設整備は実施順位の変更などを行いながら、着実に推進している。石橋第一配水場は、当初機械設備の入れ替えのみを計画していたが、建物等構築物の老朽化が激しいことがわかり、現在、建替えを念頭に整備の在り方を検討している。必要経費は当初の想定より大幅に増大し、25億円以上を要する見込みである。

その財源となる水道料金の給水原価は令和2年度の110円から令和4年度には127円と上昇し、水道事業会計収支の悪化が懸念される。

こうした状況により、来年度以降、水道施設整備計画を見直した上で、経営戦略の見直しを行う必要がある。その結果を踏まえて、水道ビジョンについても見直す予定である。

Q 水道料金を値上げせざるを得ない状況のようだが、料金改定はどのように考えているのか。

A **建設水道部長** 経営戦略見直しの中で検討する。



建替えが検討されている石橋第1配水場



個人質問



かい き ゆき お
貝木幸男 議員が問う

浸水防災

公共施設への浸水対策 災害時での防火水槽は

市長 浸水区域内であり移転も検討する。水道管等の耐震性向上を進める

Q 大雨や台風による越水、内水氾濫による公共施設への浸水対策について伺う。

A **市長** 約5年前の台風19号による浸水は、きらら館で床上3センチであり、復旧工事で合計29日間臨時休館した。その後、令和3年度と令和5年度で合計47枚の止水板を導入した。グリム保育園では床上7センチで保育を再開するまで1週間を要した。その後、止水板を19枚導入した。両施設とも浸水を有効に防止できる場所に設置し、浸水を未然に防ぐ対策を講じている。両施設とも浸水想定区域に立地しており、将来的な移転の必要性も含め検討する必要があると考えている。

Q 震災に備えた耐震性貯水槽などの整備について

A **市長** 市内防火水槽は南河内103基、石橋92基、国分寺37基の計232基が設置されている。内訳は市街化区域45基、市街化調整区域187基だが、現在市による新設は行っていない。大震災時防火水槽は重要な水利であるが多くの耐震性防火水槽の整備を図るより、水道管等の施設の耐震性向上を進めるとともに、複数のルートから水を供給する事が効果的であると考えている。



消火栓



防火水槽



個人質問



いし かわ のぶ お
石川信夫 議員が問う

保育無料

第2子保育料無料化は増税につながるのでは

市長 子育て支援を充実させるための増税は、市は全く考えていない

Q 保育所に子どもを預ける以上保育料を支払うのは親の当然の義務である。何故無料にするのか。親が一生懸命働いて保育料を支払い通わせてくれたという感謝の気持ちが親への恩返しの気持ちにつながる。無料化は親孝行の原点を損なう。

A 健康福祉部長 子育て世帯に対しての支援策として、国・県の考え方に基づいて、本市も支援策の充実を図っていく。

Q 下野市は子育てしやすいまちという市民の声もあり十分に満足されている。さらに無料化が必要なのか。

A 市長 他の都市に比べ支援は少ない。出産・子育てのしやすい環境をつくっていききたい。これは将来の日本を豊かにする投資と捉えている。

Q 無料化について、県からの相談にはどのように答えたのか。

A 健康福祉部長 県からの子育て支援の充実ということで市としても必要性を感じ、令和6年度の予算に計上した。



親子の絆を大切に



個人質問



やま した
山下みゆき 議員が問う

環境整備

市役所の環境整備と包括支援員について

市長 環境整備に努め、働く環境も整え人に優しい環境づくりに努める

Q 市役所来庁者への環境整備について、1階フロアに手すりの設置検討できないか。

A 総務部長 現状では考えていないが、できることを第一に考え、今後も改善していく。

Q 窓口に呼び鈴設置を検討できないか。

A 総務部長 検討したが、職員が積極的に声をかけて対応している。

Q 心地よい音楽を流してリラックスできる場の提供を検討できないか。

A 総務部長 様々な用件で来庁しているためできない。

Q 幼児ベッドや椅子の設置を検討できないか。

A 総務部長 椅子を検討する。

Q 背もたれのある柔らかい椅子や杖が置けるよう設置を検討できないか。

A 総務部長 杖は対応済み。椅子は更新時に検討する。

Q 窓口に塗り絵や玩具を置く検討できないか。

A 総務部長 一部対応済み。必要に応じて検討する。

Q 地域包括支援員は大変な業務なので、プレミアム商品券や入浴回数券の配布など市独自の優遇を検討できないか。

A 市長 働く環境を整えて下野市で働いて頂けるよう何ができるのか考えていく。



現在設置されている椅子



個人質問



いし かわ ひろし
石川 浩 議員が問う

ワクチン

子宮頸がんワクチン等接種のリスクPRは

市長

リスク、副反応含め丁寧な説明に努める

- Q** インフルエンザワクチンは、平成6年以降、学校での集団接種が中止になった。背景には、群馬県前橋医師会による疫学調査の結果、接種有無での罹患の差はなく、その後、厚生省が認めた結果である。これを市はどう考えるか。
- A** 市長 法律上の接種義務はなく、予防接種を受ける方、保護者が希望する場合に、医師との相談の上で個人の判断で行われる予防接種である。市ホームページにおいて、接種をする際の注意点や副反応に関する内容を記載PRする。
- Q** 子宮頸がんワクチンについて、令和4年から積極的接種勧奨が再開された。しかし、過去の接種により全身の痛み、運動障害等の深刻な副作用被害が発生し、被害者が今なお苦しんでいる。被害者は、「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」を結成し、全面解決要求書を国・企業に提出している。市はどう考えるか。
- A** 市長 リスクや有効性をよく理解した上で判断いただくことが重要であり、その為に正確な情報提供が必要。市ホームページでは、HPVワクチン単独ページを作成し、Q&Aや副反応等の最新情報を掲載している。リスク等も含め市民が知りたい情報をPR検討していく。

インフルエンザワクチンについて
厚生労働白書平成22年版 123ページ抜粋

(1) ワクチンの有効性・安全性
第2節から第4節では、新型インフルエンザ(A/H1N1)への公衆衛生、医療等の面での対応について述べたが、それらに加えて、インフルエンザワクチンの接種によって、重症化しやすいとされる基礎疾患をお持ちの方、小さなお子さん、妊婦の方、高齢者の方を中心として、なくなったり重症になったりする方を少しでも減らすことは重要である。

新型インフルエンザワクチンの効果については、基本的には、同様の方法で製造される季節性インフルエンザワクチンとほぼ同様と期待される。季節性インフルエンザワクチンについては、死亡や重症化の防止に一定の効果があることは確認されているが、100%の効果は保証されていない訳ではなく、また、感染防止や流行の阻止については効果があるとの証明はされていない。さらに、稀ではあるが重篤な副反応が起こる場合もある。ワクチン接種は、これらの状況を比較考量しつつ、総合的な判断の下で進めていく必要がある。

子宮頸がん：HPVワクチンの有効性について
第31回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会…資料17



個人質問



まつ やま ひろし
松山 裕 議員が問う

健康増進

健康寿命を延ばすためがん検診等のあり方は

市長

がん検診や人間ドック受診についてさらなる普及啓発を図る

- Q** がん検診をすることで、死亡率は確実に減少し早期発見に繋がる。市の統計では全死因の30.4%ががんによるもの。脳血管疾患は、11.8%と県全国平均を上回る結果である。それらを踏まえ、がん検診と人間ドック受診率を伺う。
- A** 市長 市の21年度のがん検診受診率は、肺がん検診が52.7%、大腸がん検診が51.3%となり、県内第1位となった。胃がん検診も県平均を上回っている。人間ドック受診者数は355人であった。
- Q** がん検診の受診率向上のための取組を伺う。
- A** 市長 検診費用を市が全額負担し、集団検診では託児サービス付きの女性限定の日や、土・日曜日の検診日を設定している。人間ドックでは、国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者対象に1人当たり2万5千円を上限に助成している。
- Q** 健康増進のためのラジオ体操の取組状況は。
- A** 市長 市内でラジオ体操を実施している団体は48団体ある。その団体にラジオまたはCDを支給する他、ラジオ体操マップを作成し啓発している。市民の皆様気軽に参加してほしい。



ラジオ体操で健康増進



個人質問



ごのへとよひろ
五戸豊弘議員が問う

個人番号

マイナンバーカードの健康保険証利用は

市長 各種の行政手続きにおける添付書類の省略などが可能

Q 下野市のマイナンバーカード保険証の登録数と率を伺う。

A 市長 国民健康保険被保険者の登録数については、令和5年12月現在、市内の国民健康保険の被保険者数1万1,100人に対し登録数は6,846人であり、登録率は61.6%となっている。

Q 登録時のマイナンバーカード、医療機関でのトラブルがあったか。

A 市長 マイナンバーカードの利用によるトラブルの報告については、現在のところない。

Q 下野市は紙の保険証を廃止するのか、両方使えるのか。

A 市長 政府は、令和5年12月22日に、現行健康保険証を令和6年12月2日に廃止する旨の政令を閣議決定し、マイナンバーカードと健康保険証が一体となったマイナ保険証への移行を促すとともに、廃止後1年間は現行の健康保険証の使用を可能とする経過措置を示している。



デジタル庁
総務省
厚生労働省
リーフレット



個人質問



さか くら
坂倉 つかさ
司議員が問う

ルール化

街路樹等に関するルール化について

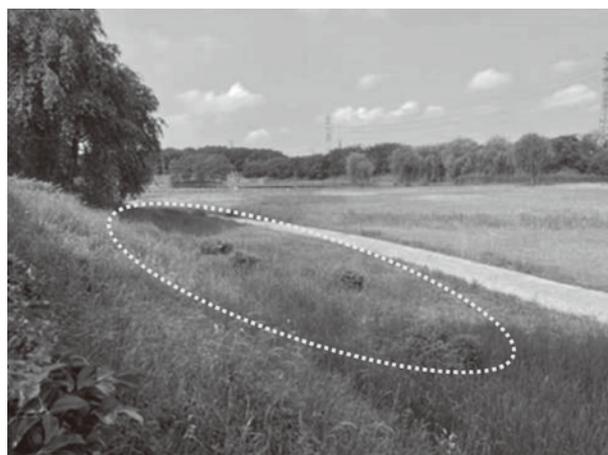
市長 状況に応じて個別に判断する必要があるためルール化はしない

Q 市民から、樹木を突然伐採するのはどうということなのかと問い合わせがあったが、ハンノキという花粉症を発症する樹木を市民の要望で伐採されたとのことであった。市民の混乱を避けるために、伐採に関するルールと街路樹のメンテナンス等に関するルールを作って、ホームページに掲載し、広く市民に分かりやすくすることが必要ではないか。

A 市長 ルール化することはかえって硬直化した樹木管理となり、可能な限りの保全・維持とはならないため、また、メンテナンスコストも考慮してルール化はせず、これまで通り現地確認を行い、状況に応じた適切な処置にて対応を図る。

Q 個々の状況で対応の仕方が変わることは分かるが、花粉症を起こす木は植えない等といったこともルール化できないか。

A 建設水道部長 花粉症を起こす木であってもその都度、状況を確認して対応するので、ルール化はできない。



伐採されたハンノキの切り株

団体との懇談会を実施しました

日時：令和5年10月27日（金）午後3時30分～
出席者：下野市国際交流協会役員 8名
総務常任委員 5名

始めに国の施策の動向、市内外国人数の推移、そして国際交流協会の日本語教室を中心とした活動状況を説明していただいた。現在、市内には約 890 人の外国人が居住しており、国籍は様々だが近年はベトナム国籍の方が急増していると感じた。

日本語教室では、以前は日本語能力試験に備えるためだったが、コロナ禍以後は、日本語の会話力を付けたいとのニーズが高まり、これに応えるため、文化庁が作成した WEB 上の教材を活用している。また、オンラインでの教室参加も増えている。ICT を活用でき、英語での対応も可能な指導者と機材・通信費の確保が課題である。

市民には、やさしい日本語の活用と多文化共生への理解を求めたいとのことでした。

総務常任委員

×

国際交流協会



日本文化の体験



経済建設常任委員

×

商工会女性部

日時：令和5年12月26日（火）午後3時～
出席者：石橋商工会女性部 3名 下野市商工会女性部 4名
経済建設常任委員 6名

「商工会女性部の現状と課題について」をテーマに開催した懇談会では、商工会の皆様から多くのご意見をいただき密度の濃い有意義な会となりました。話題となったのは次の通り。

- 両商工会共通の課題でもある会員数の減少と加入促進について
 - 空き店舗対策と活用支援の強化について
 - 新たなまちおこしイベントの開催について
 - 両商工会の合併と各駅前商店街の活性化について
- 以上、行政側を含めた関係者一同がこれらの諸課題にしっかり取り組み、本市並びに両商工会の益々の成長・発展に是非ともつなげていきたいとの意見で一致しました。



産業祭に出展



日時：令和5年12月21日（木）午後1時30分～
出席者：地域包括支援員 6名
教育福祉常任委員 6名

「高齢者を取り巻く現状と課題について」をテーマにお話しを聞かせていただきました。

まず地域包括支援センターとは、地域住民の方の健康の保持、生活の安定に必要な支援をすることが業務となっており、保健医療の向上や福祉の増進を包括的に支援することと介護保険法に定められたセンターとなっている。具体的には総合相談窓口や権利擁護、介護予防に取り組んでいます。

現在は、南河内・石橋・国分寺の3地区で、それぞれ保健師が2人、社会福祉士が2人、主任介護支援員が1人という人員で構成。そして精神科医1人、サポート医1人の3地区計6名の医師が集中支援チーム員として活躍しています。また、民生委員はとても重要な任務を担っており、民生委員との連携により高齢者の実態把握ができます。このようにそれぞれの担当者との連携でセーフティーネットが構成されているので、市民の皆様には安心して利用していただきたいと思います。

教育福祉常任委員

×

地域包括支援センター



しもつけ
元気はつらつ体操



3月22日 市民と議員の議会報告会(意見交換会)を開催しました

下野市議会では、開かれた議会を目指すため、議会改革の一環として議会活動を報告しています。また、市民の皆様からの議会や行政に対するご意見を広く伺うことを目的として意見交換会を開催しています。

今回は初の試みとして夜間に開催し、前半は議会活性化特別委員会や各常任委員会から活動報告を行い、後半は常任委員会ごとの3つのグループに分かれ、活発な意見交換を行いました。いただいたご意見は、今後の議会活動の中で調査・検討し、必要に応じ執行部へ要望するなど対応してまいります。



常任委員会ごとに
まちづくりなどについて
自由な意見交換を
行いました

ぎかい だより クイズ

1 令和6年度一般会計予算は『シモツケ 未来へ〇〇〇〇〇』予算として編成。

2 令和6年度一般会計予算総額は2〇5億5,000万円。

3 令和7年度末が開通目標のスマート〇〇〇〇〇チェンジ。

◀前号のクイズの答え▶ ①: 7 ②: アカ ③: 6

いざという時の
ために用意して
おきたい防災グッズ



◀応募方法▶

①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法でご応募ください。

正解者の中から、抽選で5名の方に「防災グッズ」をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

◀あて先▶

〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局

「議会だよりクイズコーナー」宛

◀しめきり▶

6月14日(金) (当日消印有効)

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね

編集後記

今号は現在の議会だより編集委員会の最後の編集号となりました。次号からは新しいメンバーが編集を担当します。議会だよりモニターの皆様はじめ市民の皆様には、種々ご意見をお寄せいただきありがとうございました。できるだけ、編集作業に反映したいところでしたが、即反映はできなかった点もあります。

お寄せいただいたご意見への対応については委員会で協議をします。その場で、委員各位の合意が得られればすぐに実践に移せるのですが、予算等の関係もあり、なかなか難しい点もあります。検討は続けておりますので、次期議会だより編集委員会に期待していただきたいです。

お読みくださりまして誠にありがとうございました。

(村尾光子)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訊CDを貸し出しています。電話 0285(43)1236

発行 栃木県下野市議会 編集 議会だより編集委員会

委員長	村尾 光子
副委員長	伊藤 陽一
委員	山下みゆき
	西本由利子
	石川 浩
	金子 康法

※次号 (No.73) は 8月15日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約24.0円です。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

